

経営比較分析表

千葉県 芝山町

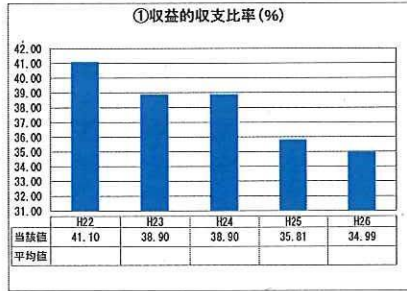
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	19.91	100.00	3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,715	43.24	178.42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,522	1.25	1,217.60

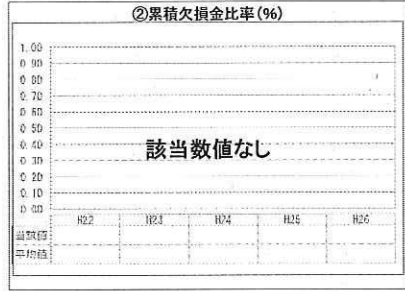
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

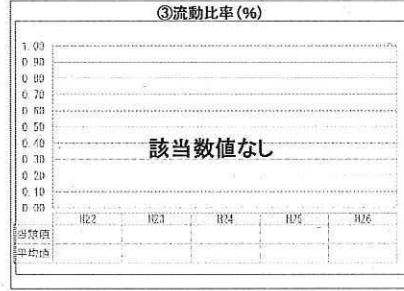
1. 経営の健全性・効率性



「単年度の収支」



「累積欠損」



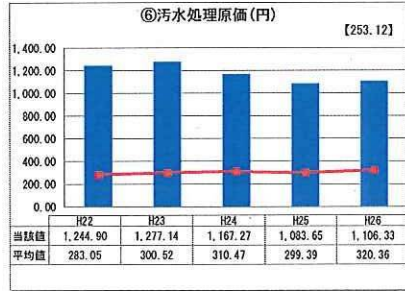
「支払能力」



「債務残高」



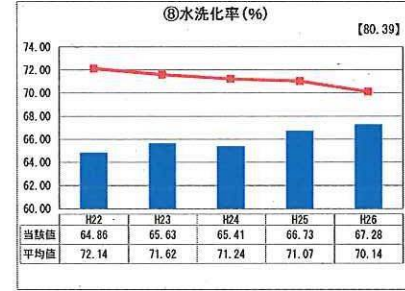
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

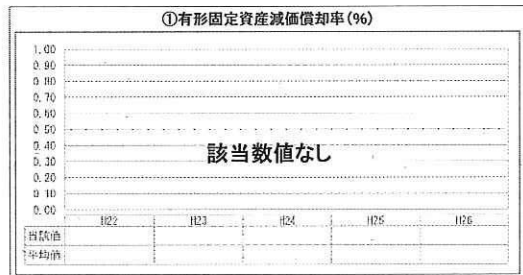


「施設の効率性」

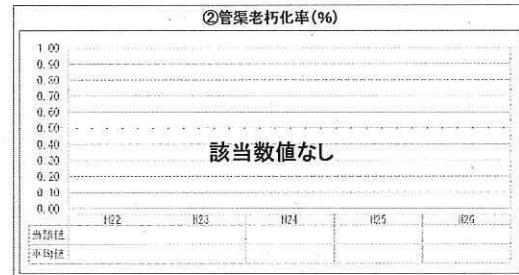


「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は年々、料金収入が多くなっていますが、管渠建設工事による支出が料金収入より多い為、年々下がっています。
 ②累積欠損比率はH23年より減少傾向にありますが、管渠建設工事等を継続的に行っているため類似団体より高い数値となっています。
 ③経費回収率はH23年から少しずつ改善されていますが、類似団体に比べ経費回収が出来ていないことを示しています。
 ④企業債残高対事業規模比率はH23年より減少傾向にありますが、管渠建設工事等を継続的に行っているため類似団体より高い数値となっています。
 ⑤経費回収率はH23年から少しずつ改善されていますが、類似団体に比べ経費回収が出来ていないことを示しています。
 ⑥汚水処理原価は1m³あたりの処理費用を示しています。供用開始がH17年で管渠工事も完了していることから、継続的に管渠整備工事を行っているため、汚水処理原価が高くなります。類似団体平均と比べても高くなっています。
 ⑦施設利用率は供用開始エリア拡大による接続人口の増加に伴い、H23年より利用率が向上しており、H26年は類似団体の平均を超える結果となっています。
 ⑧水洗化率はH24年より改善が見られますが、類似団体の平均値を下回っています。

2. 老朽化の状況について

供用開始が平成17年なので施設の目立った老朽化はありません。

全体総括

管渠整備工事については概成してきており、整備工事が終了すると下水道接続人口も増え、収支の面で改善が見込まれます。
 数年に1度、収支状況等を勘案し使用料の見直し等を行い、下水道事業の経営改善を目指します。
 今後は適正な維持管理及び資産の更新等に向け適切な経営を目指します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均値を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。